

親の経済力が学力に与える影響が大きいと言われる現在、鹿児島県は、子育て世帯の貧困率が全国第3位という心配な結果がでていました。曾於市の児童生徒の学力状況は、どのようなのでしょうか。

今回は、1月に実施されました「鹿児島学習定着度調査」結果についてお知らせします。

鹿児島学習定着度調査とは？

鹿児島学習定着度調査は、鹿児島県が独自に実施している学力調査で、児童生徒の学力実態と教職員の教科指導の効果度を測定する目的で実施されています。

対象学年は、小学5年と中学1・2年です。なお、この調査は、曾於市の実施学年の学力を示すものであり、曾於市全体の学力を表すものではありません。

曾於市の子どものたちの調査結果は？

【各教科の平均通過率の比較】

【小学5年】(現在の6年生)

	国語	社会	算数	理科
曾於市	50.6	60.8	56.0	67.8
地区	48.1	63.3	56.5	67.0
県	51.7	66.2	59.4	68.2

【分析】

国語、理科が地区平均を上回りましたが、残念ながら全教科、県平均には届きませんでした。

全体的に「基礎・基本」が伸び、課題であった「思考・表現」も改善が見られるようになりました。

また、学校規模の違いによる学力差が、今回の調査で徐々に縮小していることが明らかになりました。

今後も、基礎学力の定着が必要と思われる。

昨年度と比べて、どの学年も県平均との差が詰まっております。本市の課題である「学力の二極化」も徐々に解消されています。

【中学2年】(現在の3年生)

	国語	社会	数学	理科	英語
曾於市	62.3	59.0	63.4	53.3	57.8
地区	60.7	59.6	59.8	52.2	55.1
県	62.5	61.2	62.9	54.7	59.4

【分析】

国語、数学、理科、英語は地区平均を超え、数学は県平均も上回りました。県との差も大きく縮小し、ほぼ県平均並みとなりました。

曾於市では、これまで学年が上がるたびに、学力が低下する傾向がありましたが、今回は中学2年で伸びるといふ素晴らしい結果となりました。

1年後に迫った高校入試でも、好成績が期待されます。

【中学1年】(現在の2年生)

	国語	社会	数学	理科	英語
曾於市	66.2	57.6	53.8	43.2	62.7
地区	66.9	54.1	57.1	44.5	65.4
県	69.0	57.5	62.3	47.1	70.7

【分析】

社会科が県平均を超えましたが、他教科は地区平均にも届かない厳しい結果となりました。

傾向としては、「基礎・基本」に課題が見られ、学習内容が十分定着していない状況が見られます。

2年後の高校入試に向けて、基礎固めを図ると同時に、応用問題など発展的な問題にも果敢に取り組む必要があると思われる。

懐かしの二宮金次郎像

曾於市内の小中学校に、現在でも8体の金次郎像が設置されています。全国的には、年々減りつつありますが、曾於市では増えています。



財部小



菅牟田小



岩川小



笠木小



大隅中



柳迫小



諏訪小



末吉小

学校では、基礎・基本を大事にした授業にこれからも継続して取り組みます。また、思考・表現を高めるために、「学び合い」のある授業づくりにも積極的に取り組みます。家庭でも、学校と協力して家庭学習の「質と量」の充実に努めてください。

今後の学力向上対策は？